

磐田市 磐田市の未来のために 自治会連合会だより

回覧

vol.40



この連合会だよりは、連合会のホームページからも見るができます →

会長メッセージ

これからの自治会活動に思う



磐田市自治会連合会会長
村上 勇夫
Isao Murakami

個人の尊重、主義が重視され「社会」が大きく変化しています。改めて「社会」とはどういう意味か、辞書を引いて見ました。【社会とは、人々が集まって作り上げる共同生活の集団】と定義されていました。まさしく自治会の原点です。自治会の原点は集団生活で支え合うことを前提にしていると思

いますが、私たちは支え合う集団の必要性や大切さを忘れかけているのではないかと思います。

役員、委員の成り手不足で自治会の運営に苦慮している地域が多くなったと聞きます。自治会活動は社会環境や時代の流れによって変化しますが、これからの自治会活動で最も重要なことは、格差社会から生じる様々な社会的弱者と言われる人々を支え合うことではないかと思います。社会的弱者は高齢者だけではなく、虐待に悩む人や、ヤングケアラーと言われる子どもなど、一般的社会的弱者への支援は決して難しい事ではないと考えます。

今までの自治会は、比較的時間に余裕がある高齢者や地域の一部の人が中心になり運営や慣例的な事業を継続しているケースが多く見受けられましたが、これからは時代の変化と共に、自治会を運営する人や事業の内容を見直す時代になってきました。

地域づくり協議会という新たな仕組みで、地域に合った施策や事業を展開することが求められます。老若男女の意見を吸い上げ、【地域の課題】の改善を目指す【地域の運営】が必要になってきました。地域活動は事業を行うことだけではなく、行政の施策や情報を的確に地域住民に知らせ、理解を深め、それを有効に活用することも、安全安心なまちづくりを可能にします。

地域づくり協議会があることで、地域の高齢者に対しては包括支援センターの役割や成年後見人制度の内容の理解も深められます。虐待やヤングケアラー等の問題には、人権侵害に関する相談機関や児童相談所への紹介や啓発が有効です。

地域づくり協議会は自治会だけではなく地域で活動している豊富な知識と経験を持つ諸団体の方々も加わって運営する組織です。防災に関しては消防団、福祉では民生委員・児童委員、子ども若者健全育成では子育て中のPTAの方々に参加し、協議会を運営することも必要です。

地域づくりは、地域の役員や委員の方々だけでなく、住民一人ひとりが地域の社会活動へ参加することで地域の人々を支える大きな力になります。さらに、将来の地域を運営する人材の育成につながり、現在の役員の成り手不足を解消することにも有効です。

そして地域づくり協議会の中で自治会の存在価値を永遠に維持するためにも、多くの方の参加を願っています。

自治会連合会
ホームページ

様々な情報をお伝えしています!



交流センターだより/
地域づくり協議会だよりが
市ホームページで見ることが
できるようになりました!



磐田市自治会連合会
facebook

様々な情報をお伝えします!
いいね! よろしく願います。



令和4年度総会報告

令和3年度事業報告・決算、規約の改正、新役員、令和4年度の事業計画・会費徴収額、予算等は、4月17日（日）に自治会連合会役員にて総会を開催し、すべての議案が承認されました。

令和4年度事業計画

次の6つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組みます。

- 互いに支えあい、安全安心の住み良いまちづくりの取り組みを推進する
- 次世代に自信をもって引き継げる単位自治会の強化を図る
- 交流センターを核とした地域づくり協議会を推進し、地域住民主体のまちづくりを推進する
- 防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生に関する施策を、地域づくり協議会と連携して展開する
- 行政、関係機関、団体と連携を図り地域力の向上を目指す
- SDGs※1やダイバーシティ&インクルージョン※2の考え方を理解し、関係団体の行う事業等に積極的に協力する

※1 SDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標の略称。誰ひとり取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の17の目標。

※2 誰もが多種多様な考えや個性を受け入れ、共存共栄すること。

令和3年度収支決算

収入		支出	
費目	決算額(円)	費目	決算額(円)
会費	1,017,000	会議費	528,716
交付金	5,457,500	事務費	2,880,857
負担金	0	視察研修費	129,220
前年度繰越金	4,259,648	事業活動費	3,634,480
雑収入	43	支部研修費	35,000
合計	10,734,191	負担金	150,160
		予備費	0
		合計	7,358,433

差引残額 3,375,758 円は翌年度に繰り越す。

令和4年度収支予算

収入		支出	
費目	予算額(円)	費目	予算額(円)
会費	1,017,000	会議費	650,000
交付金	5,840,000	事務費	3,236,000
負担金	660,000	視察研修費	1,050,000
前年度繰越金	3,375,758	事業活動費	5,200,000
雑収入	0	支部研修費	250,000
合計	10,892,758	負担金	400,000
		予備費	106,758
		合計	10,892,758

取組事業

地域力向上

自治会連合会だよりの発行、市長と市政について語る会の開催、女性役員の選出・活躍推進、地域活動のDX化※3に向けた研究など

防犯

青色回転灯装備車など防犯パトロールの実施、特殊詐欺被害撲滅に向けた取り組みなど

防災、減災

家庭防災の日による自助の推進、新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災対策の推進

交通安全

ピカッと作戦(早めのライト点灯と自発光式反射材の着用)の推進、自転車マナー向上に係る取り組みなど

※3 Digital Transformationの略語。デジタル技術を活用し、新たな価値の創出と仕組みの変革を進めること。

新役員のご紹介

令和4年度は、新たに6名の役員が就任しました。



福田支部長
星野 秀次郎



天竜地区長
鈴木 隆



向笠地区長
鈴木 和行



福田南地区長
大石 光泰



西部地区長
安部 詠司



竜洋東地区長
大橋 建彦

磐田市自治会連合会 組織

連合会は、5支部29地区304の自治会で構成されています。

5支部	29地区	304自治会
磐田	見付 今之浦 中泉 天竜 長野 於保 大藤 向笠 岩田 西貝 御厨 南御厨 田原	143自治会
福田	福田中 福田西部 福田北部 福田南 豊浜	47自治会
竜洋	竜洋西 竜洋東 竜洋北	39自治会
豊田	富岡 豊田東 池田 井通 青城	46自治会
豊岡	豊岡北 豊岡南 豊岡東	29自治会

【令和4年8月3日発行】 発行：磐田市自治会連合会 編集：磐田市自治会連合会 総務部会

連絡先 磐田市自治会連合会事務局(地域づくり応援課)
TEL (0538) 37-4811 <http://www.iwatashi-jichikai.jp>